

講義コード	11C0272501	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	米田 紘康	開講期	第2期
科目名	行動経済学2					米田 紘康		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	この講義では行動経済学と行動ファイナンスの知識を習得します。 前半部分では、行動経済学を講義と実験の2つを通じて理解を深めます。 後半部分では、行動ファイナンスについて紹介・講義します。								
到達目標	多角的な視点から経済学が理解できる。 行動経済学はみなさんが習ってきた規範的な経済学（ミクロ経済学や金融論）に、心理実験や行動科学の要素を加えることで、より親しみやすい経済学になっています。 実験と理論を通じて、経済学（特にミクロ経済学、ファイナンス）を理解できることを目指します。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	2単位科目であるこの授業では、少なくとも60時間の授業外学修（自主的な学修）が必要です。 具体的にどのようなことをすべきかは各講義で指示します。								
授業計画	【第1回】オリエンテーション：行動経済学・行動ファイナンスとは 【第2回】不確実性な判断は迷います：不確実性下の意思決定（1） 【第3回】不確実性な判断は迷います：不確実性下の意思決定（2） 【第4回】思考は面倒なので、直感と感性で決めます：限定合理性（1） 【第5回】思考は面倒なので、直感と感性で決めます：限定合理性（2） 【第6回】夏休みの宿題は予定通り進みません：異時点間選択（1） 【第7回】夏休みの宿題は予定通り進みません：異時点間選択（2） 【第8回】協調、裏切り、不公平、他人の目は気になりますか：社会的選好（1） 【第9回】協調、裏切り、不公平、他人の目は気になりますか：社会的選好（2） 【第10回】行動ファイナンスへの準備（1） 【第11回】行動ファイナンスへの準備（2） 【第12回】行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（1） 【第13回】行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（2） 【第14回】行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（3） 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	レポート試験（90%）と授業への取り組み（10%）で評価します。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書	『新版 行動ファイナンス』角田 康夫（金融財政事情研究会）2011、『行動経済学 —— 伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して』大垣昌夫・田中沙織（有斐閣）2014								
教員からのお知らせ	行動経済学1を履修していなくても問題ありません。 講義中にアンケートやスマホを使った実験をおこなうことがあります。 遅れてくると、参加できないことがあります。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 または h-yoneda@u-keiai.ac.jp までメールしてください。 その際には「行動経済学」の授業であることを件名に入れてください。								
その他	使用した資料やレポート課題は「りすCan」を通じて、配布・回収します。								